

第12回松本市西部地域公共交通協議会の開催結果について

1 開催日時

平成22年6月25日（金）
15時30分～16時30分

2 場所

あがたの森文化会館 講堂ホール

3 出席者

松本市政策部長 高山会長、信州大学 高瀬副会長、松本建設事務所 坂田委員、松本市建設部長 丸山委員（代理丸山建設課長）、東日本旅客鉄道㈱長野支社 萩原委員、松本電鉄 惣洞委員、タクシー協議会 伊藤委員（代理青木）、島内地区町会連合会 河野委員、島立地区町会連合会 百瀬委員、新村地区町会連合会 小林委員、和田地区町会連合会 北野委員、神林地区町会連合会 村上委員、今井地区町会連合会 梶原委員、笹賀地区町会連合会 和田委員、中信地区校長会 梅村委員、松本警察署 村松委員、長野運輸支局 千村委員、県交通政策課 小林委員（代理犬飼）、松本地方事務所 竹淵委員、安曇地区町会連合会 大野委員、波田地区町会連合会 百瀬委員
欠席 松本国道出張所 三木委員、芳川地区町会連合会 小澤委員、梓川地区町会連合会副会長 村上委員、奈川地域協議会 古幡委員

4 会議事項

- ア 第11回開催結果について（原案どおり承認）
- イ 平成22年度事業計画変更（案）及び補正予算（案）について（原案どおり承認）
- ウ 住民意見交換会の開催結果について（原案どおり承認）
- エ コミュニティバスの実証運行（案）について（原案どおり承認）
- オ 松本電気鉄道㈱梓川線及び神林・水代線の休廃止について（原案どおり承認）
- カ ポイントカード事業の実施について（原案どおり承認）
- キ 安曇・奈川・波田地区公共交通現況把握調査実施について（原案どおり承認）
- ク その他
 - （ア）松本市地域公共交通会議からの意見について
 - （イ）次回協議会の開催について

（4）会議で出された主な意見等

項目	意見等
住民意見交換会の開催結果について	○島内地区の意見交換会では、コミュニティバスが流す音楽がうるさいという意見が出されたが、他の地区はどうか。 ⇒今井地区では、音楽が流れていることでコミュニティバスに対して住民が関心を持った。音がうるさいという話は聞いていない。 ⇒笹賀地区では、一部、寝ていた子供が起きるといった話も出たが、大勢としては問題なし。

<p>コミュニティバスの 実証運行（案）につ いて</p>	<p>○回数券に有効期限はあるか。 ⇒回数券も実証運行の一環なので、平成24年3月までの設定となる。券には期限を明記する。</p>
<p>ポイントカード事業 の実施について</p>	<p>○カードの裏にある「お名前」に合わせて、「住所」も「ご住所」にした方がよい。 ⇒訂正する。</p>
<p>その他 （山形村からの意見 について）</p>	<p>○山形村にとってのこれからの課題として、JRや病院との接続があるが、コミュニティバスが通ることによって村井駅に接続されたり、病院に行けるようになる。村長、村議会議員も今回の提案について喜んでいいる。山形村では福祉バスが運行されており、高齢者が保健センターや買物に行くのに利用されているが、松本市のコミュニティバスが通ることによって選択の幅が広がることから期待している。利用率がバス運行維持に関わるとのことなので、村としてもPRに努め、活用していくようにしたい。</p>
<p>その他 （地域公共交通活性化・再生総合事業の 国庫補助の減額につ いて）</p>	<p>○平成22年度の補助について、要望額の半分以下ということで、縮小見直しされることについては申し訳ない。平成22年度予算については、平成21年の夏には60億円の予算請求をしていたが、政権交代や事業仕分けなどにより40億2千万円ということになってしまった。行政レビューでは一旦廃止し、他事業に移管となった。本省では、交通基本法、移動権について考え方を検討中である。現在、パブリックコメントを実施しているので、皆さまからもご意見を出していただきたい。</p>
<p>その他 （全般について）</p>	<p>○テレビでデマンドシステムについての番組を放送していた。しっかり見ていなかったので詳しいことは分からないが、参考になると思う。内容を調べてもらいたい。 ⇒（高瀬副会長）放送していた番組内容のデマンドのシステムについては、生坂村でも導入していたが、費用がかかるという事から自前でやるということに変わった。</p>